

西中学校区 保幼小中連携通信

グローイングアッププラン 1年目 [点を深めるブロック連携]

第5号 平成29年9月6日

発行責任者 加藤 淳

(西中学校区連携コーディネーター)

～西中校区夏季合同研修会 報告～

7月21日(金)、西中校区夏季合同研修会には120名を超える先生方にお集まりいただきました。1学期の熱い気持ちのまま研修会にご参加いただきまして、各担当者、教科・専門部会ともに様々な観点から交流を深めることができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今年度は「点を深めるブロック連携」がテーマです。研修会での各部会の様子をお知らせします。話し合われた資料は市内共有ホルダーに保管していますので、各学校での研修、担当者会等にご活用ください。

国語部会



算数・数学部会



理科部会



① 授業や教材・用具等の交流について

小学校・単元目標を子どもたちとつくる ・視写をする
・投書を班の4人でつくる

中学校・めあてからスタート ・授業の流れが決まっている
・班での学習を楽しんで取り組んでいる

提案：原稿用紙の使い方が小中でちがう？(中学校)

→入試では内容と表記を観点。

「話すことについて」…時系列と主語のある話わかりやすいので…

幼稚園・「どうしたん?」「それで?」→繰り返し聞く、つなぐ。

① 授業や教材・用具等の交流について

(コンパスの使い方)

小学校・算数の授業だけでなく、図工等でも利用して身近なものを。

中学校・作図に入るまでに、自由に円を描かせる等慣れてほしい。

(ノートの板書)

小学校・黒板に書く量多くなっているが、グラフ・直線書けている。

・=の書かせる位置が難しい。

中学校・ノートに書いたものを見返す習慣がつくといい。

① 授業や教材・用具等の交流について

・視聴覚教材 ・実際のリアルタイミングでの教材活用 ・教材の共有

「ふりかえり」

・できるだけ書いている。

・まとめられる等メリットがあるので、続けていく。

社会部会



① 授業や教材・用具等の交流について

- 小学校**・小学校段階で、都道府県のある程度の場所覚えさせたい。
- ・緯度・経度を班学習で調べ、発表したい。
 - ・苦手意識を持たせない工夫→直前ミニテストなど。

- 中学校**・いかにワークシートを自作して取り組むか…
- 気候・場所・雨温図等関連させて覚えさせる。

② 連携カリキュラムの確認

- ・めあてとふりかえり→小中でやっていく。・発表回数増やしたい。

音楽部会



① 授業や教材・用具等の交流について

- ・専科の授業の場合、45分間きちんと授業ができるようにしたい。
- ・今日めあてや流れを子どもに示す→視覚化
- ・記号やハーモニー感を身につけて中学校に上がってほしい。
- ・リズム打ちの休みから入るのが打てないことがある。
- ・低学年からリズム打ち等たくさんして楽しさを味わうといい。

図工・美術部会



① 授業や教材・用具等の交流について

- 小学校**・平面、立体作品の交流
- ・年度ごとに収支差が出ないよう、学年で内容統一。板書はクラスごと。作品のまとめを冊子でしている。
- 中学校**・文化発表会、体育大会のポスター描く。スケッチブックに作品描く。完成予想図を描き、作りたいものをイメージ。板書例、目当ての提示、絵の具の置き方。
- ・時間をかければかけるほど出る差…調整する術はないか？
 - ・評価の仕方…はじめにめあて・評価の観点を全員に提示。

児童生徒部会



① 授業や教材・用具等の交流について

- 西中**：「居場所のある学校」「班食」「やさしさの木、ハットちゃん」「J4」→学校としての共通の取り組み
- 畑田小**：代表委員→児童会に名称変更。目安箱設置＝児童意見集約。
- 春日小**：児童会の募金企画（熊本地震）。ペア学年交流。
- 運動会で児童会の言葉、校歌、運動会の歌指揮。
- 郡小**：朝会の司会、児童会新聞、ペア交流。運動会司会、児童会種目の企画・運営。実態に応じた企画立案（パトほめ隊）

学力担当者会



① 授業や教材・用具等の交流について

- ・新入生説明会の冊子を各小学校に配布。
- ### ② 連携カリキュラムの確認
- ・プリントの直し等やらせっぱなしになることある。（小・中学校）
- ### ③ その他
- ・小学校から中学校へ情報をしっかり送っていく。

体力担当者会



生活指導担当者会



支援教育担当者会



情報担当者会



養護保健部会



① 授業や教材・用具等の交流について

西中：器械運動の積み上げ不足？投能力の弱さ

春日小：マラソン大会、縄跳び大会の実施。体育は壁掲示、ボード等目当ての明確化。運動量を増やすように。

畑田小：畑田サーキット、マラソン習慣等の取り組み。

郡小：低・中・高学年で取り組む。リレー練習を全学年で取り組む。マラソン習慣化に向けた視覚支援。→児童の声かけ増えた。
※投げる力の低下、蹴る力の増加。繰り返しの必要性。

② 連携カリキュラムの確認

西中：ルールを守らせるために行動しているのではなく、自分たちで考えていく。様々な事情を抱えた生徒。班単位の活動、J4・J3、MT、学年集会、班食、ST等行っている。

(中学生と小学生をつなぐ)

- ・暴力事象は減少しているが、インターネットやケータイトラブル。
 - ・LINE等のイジメは小学校から火種→中学校で大きくなることも。
- ※情報モラル、トラブルの引継ぎや共有をしたい。

① 授業や教材・用具等の交流について

(個別の指導計画交流)

- ・各小学校形式はちがうが統一しなくてもよい。

課題・本人のニーズに合っているのか？中学校は保護者に開示を進めている。知っているか確認ができる欄を作ってほしい。

(UD：環境&授業)

- ・完成図の視覚化(そうきん・靴の入れ方・上靴の並べ方)、時間割。
- ・作業手順、完成図の視覚化。マグネットシートの活用。

① 授業や教材・用具等の交流について

(ICT活用例)

- ・デジタル教科書、写真提示時にTV・PC・書画カメラの連動。
- ・タブレット撮影を事前に行い、班学習時に何度も見直せる。

② 情報モラル教育実践

- ・教育センターの動画を入れ、各学年で活用したい。(畑田小)
- 市内共有ホルダーに入れて、各小学校で活用できるといい。
※各校で情報モラルの取り組み、保護者への啓発を共有したい。

① 授業や教材・用具等の交流について

(病院について)**脳**：川尻クリニックCT/MRI 多田クリニックCT
友絢会 **鼻**：うの医院 **すりきず**：かねもと医院 ささき外科内科
整形：小林整形外科 済生会 けいさつ病院 いのうえ整形
眼：金田眼科 おおはし眼科 さいとう眼科 かめい眼科

① 授業や教材・用具等の交流について

(道徳の時間への取り組みの現状の交流)

- ・小学校は来年度から実施だが、35 時間は現状なかなか難しい。組織的に進めていこうとしている。
- ・中学校は具体的にはまだまだで、今年は 10 時間やっていこうとしている。

(問題意識について)

・教科書もある程度しなければならぬので、教材をどうするか、どう選ぶかが難しい。また、教科書に頼ってしまうこともあるかもしれない。学校・学年・児童生徒の実態に合わせた教材でやっていく。

(教材の交流)

- ・中学校の教材・指導案についての紹介では、総合や学活と組み合わせて道徳教材を取り入れていく。
- ・小学校 6 年の教材を使って、5 人で中心発問の進め方について話し合った。学年でも同じような教材づくりについての討論がされている。

② 連携カリキュラムの確認

・道徳をカリキュラムに入れていくかどうかは別として、9 年間の積み上げカリキュラムを作成していかなければならない。

③ その他

- ・次年度 3 小学校で同じ教材を使って授業づくりをしていきたい。
- ・次々年度は小学校の取り組みを発展させ、中学校の公開授業を実施できたらいい。

外国語活動・英語部会

① 授業や教材・用具等の交流について

・小学校でのモチベーションを維持するために、その活動がなぜ必要なのかを話して聞かせる。(「次のゲームで使うよ。」ぐらいで良い。)

- ・小学校で教える英語の発音が気になる。→ICT 機器を使ってみる。
- ・授業の中でどのくらい英語を使っているか？

→授業での簡単な指示を英語で出しているくらい。

・NET との打ち合わせはどのくらい時間をかけているか？

→小学校：事前 3 分くらい 中学校：学校に来校しているので時間はとれる。

インタラック：基本的に NET に任せてほしい。

・NET の先生に導入をしてもらって、その後の展開を JET がする。(小学校)

・単元を分けて NET の先生に 1 つ授業してもらおう。(中学校)



小学校の授業 ・テレビの活用 ・ゲーム、活動の場の工夫 ・導入の工夫 ・机の配置変え

・女性の先生は英語の授業で呼称を使う人もいる。

② 連携カリキュラムの確認

・中学校 3 年間の CAN-DO リストだけでなく、小学校を含めた 9 年間、もしくは小学校高学年を含めた 5 年間の CAN-DO リストを作っていきたい。

③ その他

・小中の段差をなくすために…へボン式で統一(1)、クラスルームイングリッシュの小中統一したい。